

## 目標達成計画

作成日: 平成 22 年 12 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準をえながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する月
1	36	重度化した場合における(看取り)の指針が、ご利用者及びご家族、職員全体に浸透していない。	重度化した場合における(看取り)の指針の共通認識を図る。 ご利用者にとっての、人生で一番大切な最期の時を安心して過ごして頂ける様に支援する。	重度化した場合における指針やケアにおける留意点等の部署内研修会を開催し、共通認識を図る。 各関係者、連携部署との連携・協力体制の強化を行い、必要時には適切な医療・介護に繋がれるようにする。 入居前に十分な説明を行うと共に、現ご利用者とご家族へは、面会の折や家族会等の機会に再度説明を行う。 介護度が重度の方に関しては、定期的に話し合いの場を持つ。	12ヶ月
2	2 35	地域行事へ参加させて頂いたり、地域へ出向くようにはしているが、事業所の認知度は低い現状にある。 火災等事故発生時に、地域の力は必要不可欠であるが、協力体制の構築が不十分である。	地域住民と事業所間で、相互扶助の関係が築ける。	火災訓練に、地域住民の方にも参加して頂けるように呼びかける。 広報誌や瓦版、法人のホームページやブログを活用をし、事業所の認知度を高める。 地域の行事や清掃活動へも出向くようにする。	12ヶ月
3	1	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念は掲げているも、ご利用者やご家族に事前説明が不足している。	基本理念の実現に向け、即したケアを目指す。	入居時に、基本理念やケア方針を説明する。併せて、広報誌やホームページに基本理念を掲載し、方針を明確化する。	12ヶ月
4	10	ご利用者やご家族等が意見、要望を職員に表出される機会はあるも、十分とは言えない。	ご利用者やご家族等が、意見・要望を職員に表出される機会をより多く持ち、ケアや事業所運営に反映させる。	家族アンケートで頂いた、預り金(お小遣い)の収支報告書を定期的に送付してほしいとの意見をケアに反映する。 引き続き家族が参加できる行事・家族会などの運営をし、家族との信頼関係の構築に努める	12ヶ月